

- 開口部の準備
- ！

扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。
- ！

開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- ！

柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。
垂直、水平が出ていないと、上下ストッパーのキャッチ力が不足し、ピボット扉として開閉する際に扉がキャッチから外れる場合があります。

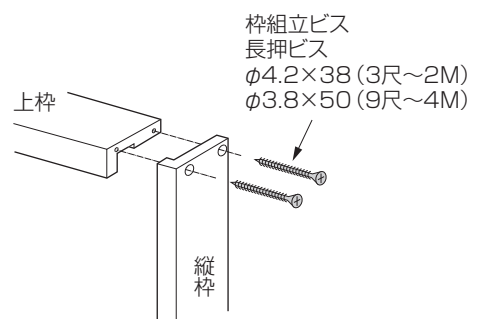
	3尺間口 1M間口	4.5尺間口・6尺間口 1.5M間口・2M間口	9尺間口 3M間口	12尺間口 4M間口
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上	105×300mm以上	105×360mm以上

本体の組み立て

枠の組立て・施工手順（方法）

1. 枠の組立て

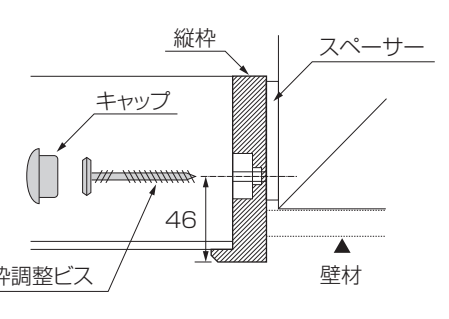
※図は固定枠です。
※四方形の縦枠に
上下はありません。



枠組立ビス
長押ビス
φ4.2×38 (3尺～2M)
φ3.8×50 (9尺～4M)

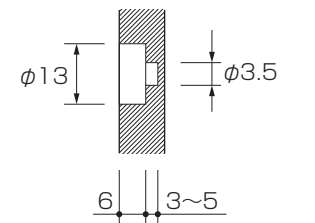
2. 縦枠の取付け

※図は固定枠です。



縦枠
キャップ
スペーサー
枠調整ビス
壁材

<6尺高の場合の現場加工>
縦枠下より150mm、前面より46mmの位置で内側よりφ13、深さ6mmのリード穴を開けビス固定してください。

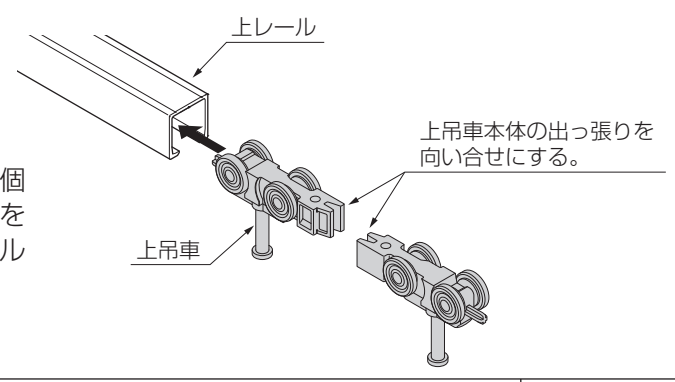


φ13
φ3.5
6
3～5

3. 上吊車、仮固定ストッパーの取付け

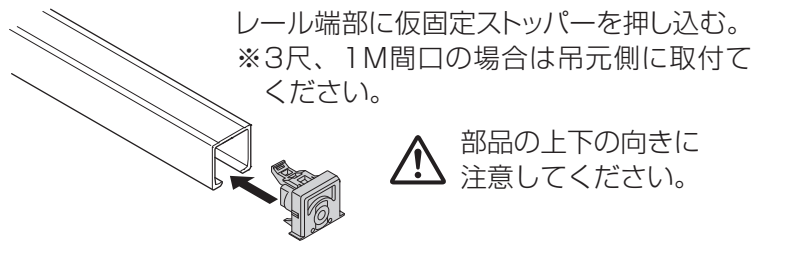
レールを枠に取付ける前に、上レール内のゴミを除去し、上吊車・仮固定ストッパー(上)を挿入してください。

■上吊車の挿入



上レール
上吊車
上吊車本体の出っ張りを
向い合せにする。

■仮固定ストッパーの取付け

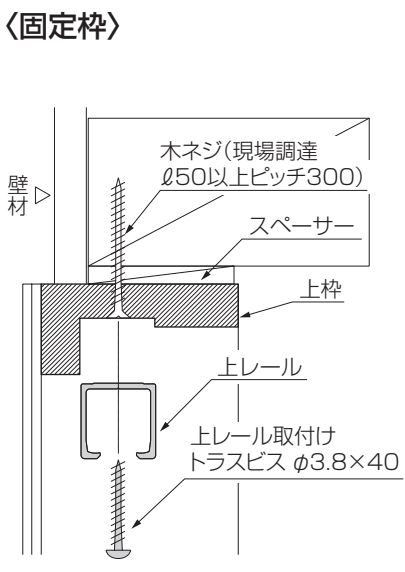


レール端部に仮固定ストッパーを押し込む。
※3尺、1M間口の場合は吊元側に取付けてください。

部品の上下の向きに
注意してください。

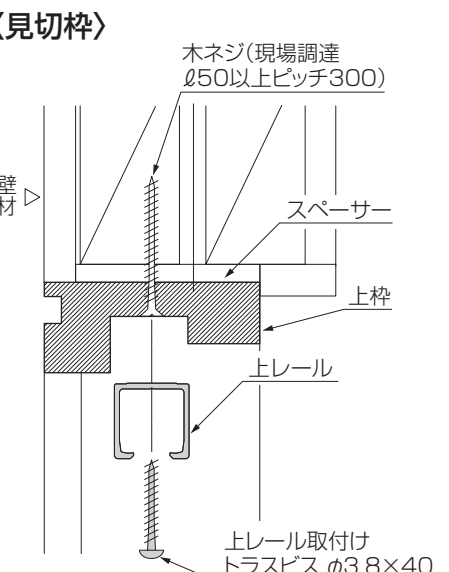
4. 上枠・上レールの取付け

〈固定枠〉



壁材
木ネジ(現場調達
φ50以上ピッチ300)
スペーサー
上枠
上レール
上レール取付け
トラスビス φ3.8×40

〈見切枠〉

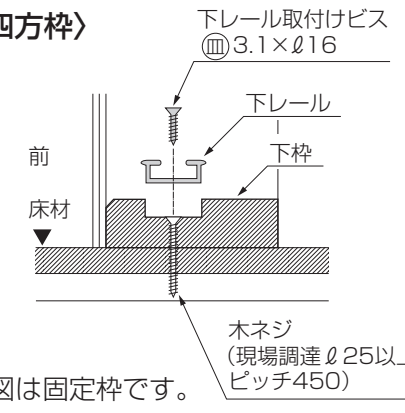


壁材
木ネジ(現場調達
φ50以上ピッチ300)
スペーサー
上枠
上レール
上レール取付け
トラスビス φ3.8×40

枠とまぐさの隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペーサーを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。

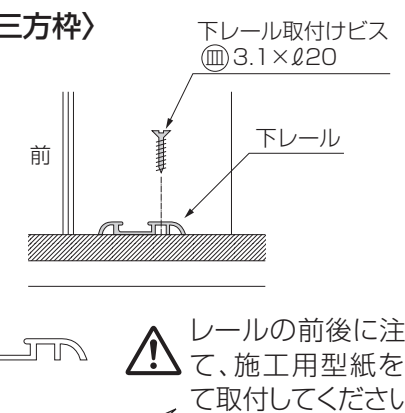
5. 下枠・下レールの取付け

〈四方形〉



下レール取付けビス
φ3.1×φ16
下レール
下枠
木ネジ
(現場調達 φ25以上
ピッチ450)

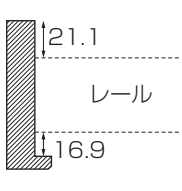
〈三方枠〉



下レール取付けビス
φ3.1×φ20
下レール
前

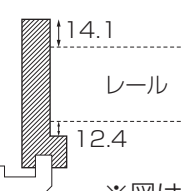
レールの前後に注意して、施工用型紙を使って取付けてください。

・固定枠の場合



21.1
16.9
レール

・見切枠の場合



14.1
12.4
レール

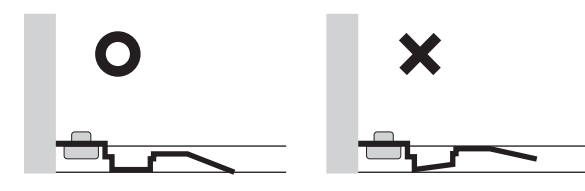
※図は左縦枠の場合

6. 仮固定ストッパー(下)の取付け

※図は固定枠の四方形枠です。

！

仮固定ストッパー(下)の先端が下レールにぴったりついていることを確認してください。先端が浮いていると、スムーズに開閉できなくなるおそれがあります。



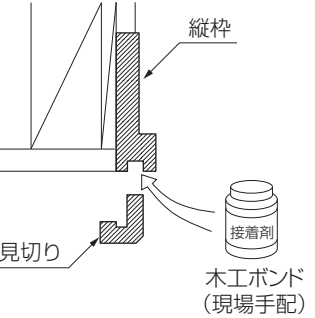
縦枠
仮固定ストッパー(下)
縦枠にぴったりつける
下レール
下枠

！

プラスの手回しドライバーを使用してください。

7. 見切りの取付け ※見切枠の場合

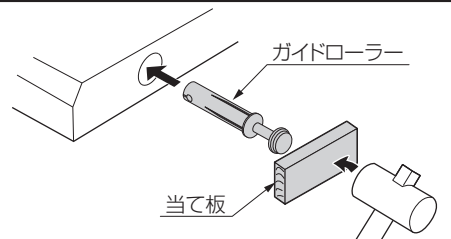
壁の施工が終わってから、枠寸法に合わせて加工し、取付けてください。



縦枠
見切り
接着剤
木工ボンド
(現場手配)

1. ガイドローラーの取付

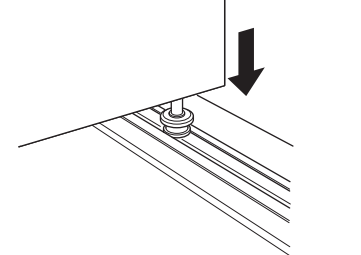
当て板をあてて扉下部にガイドローラーを打ち込んでください。
※ガイドローラーを直接叩くと破損する場合があります。
必ず当て板をあててください。



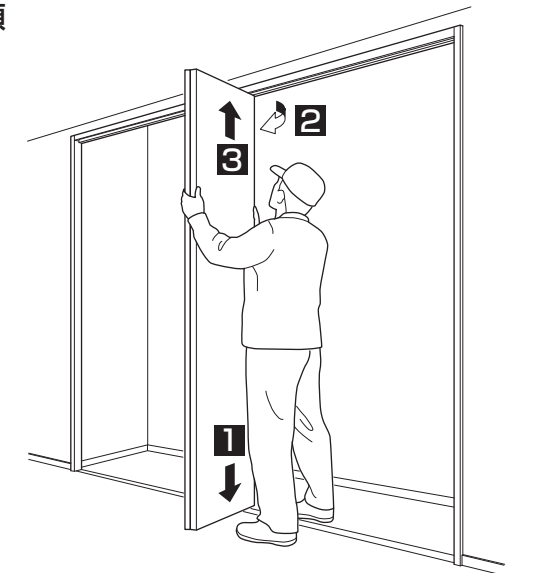
ガイドローラー
当て板
※つばに引っかかって止まるまで
しっかりと打ち込んでください。

2. 下レールへの落としこみ 1

下レールにガイドローラーを落とし込んでください。



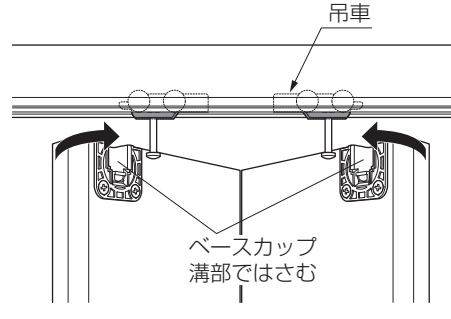
■扉の取付手順



1
2
3

3. 吊車のはさみ込み 2

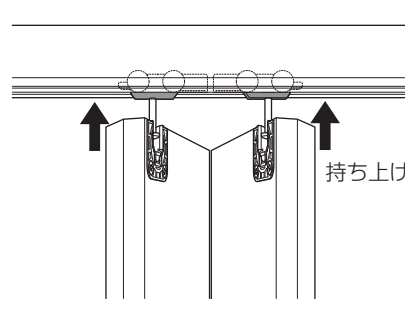
吊車の軸を扉のベースカップ溝部ではさみ込んでください。



吊車
ベースカップ
溝部ではさむ

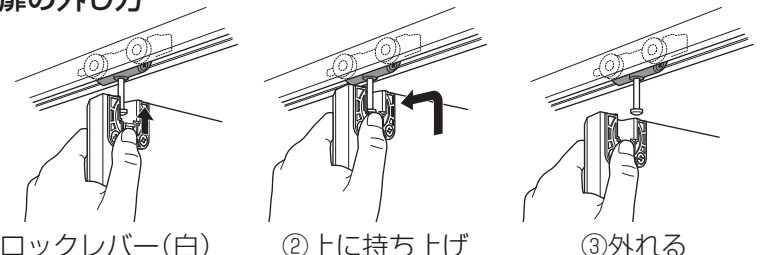
4. 扉の持ち上げ・扉の吊り込み 3

扉を持ち上げて、扉を吊り込んでください。
吊車の軸がしっかりと嵌合されていることを確認してください。



持ち上げる

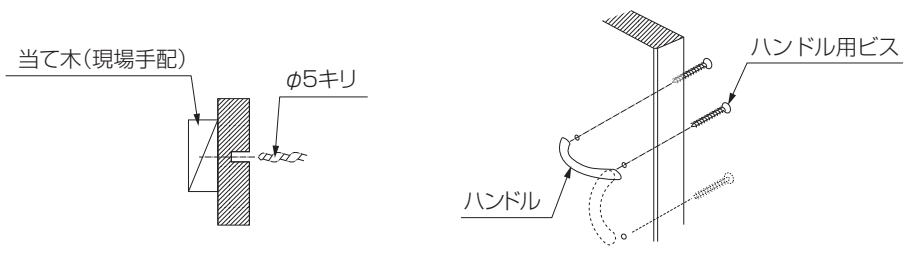
■扉の外し方



①ロックレバー(白)を上にあげる
②上に持ち上げながら前に押す
③外れる

5. ハンドルの取付け

ハンドルの取付け位置(左右、縦横)を決め、扉裏面のリード穴をφ5のキリで貫通させ、ハンドルを取り付けてください。



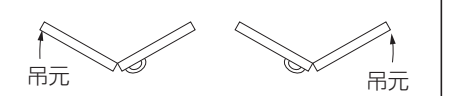
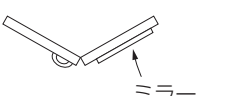
当て木(現場手配)
φ5キリ
ハンドル
ハンドル用ビス

※カマチ扉は扉梱包の上下パッドの中に入っている専用ビス (M4×L12) をお使いください。

！

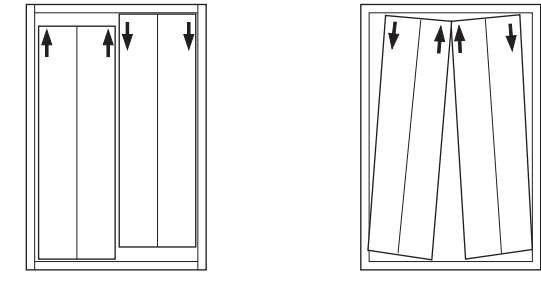
扉表面に当て木(現場手配)をあて、バリの発生を防いでください。

※ハンドルは扉1セットに1個です。

ウッド扉	右ミラー扉
 吊元	 吊元 ミラー
ハンドルは左右どちらにでも取り付け可能ですが、両端の扉は吊元とは逆の位置に取付けてください。	ハンドルは左側に取付けてください。

6. 扉位置の調整

◆扉に段差、傾きがある場合は、まず上吊車を調整し、次に仮固定ストッパー(下)の位置を調整してください。



上吊車の調整方法

上下調整 (調整量6mm)

上吊車の調整ビスをプラスの手回しドライバーで回してください。

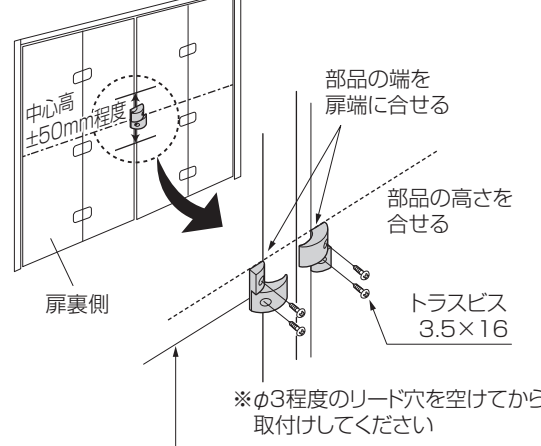
仮固定ストッパー(下)の調整方法

プラスの手回しドライバーでビスをゆるめて仮固定ストッパー(下)の位置を調整し、再度締め付けてください。

7. 召し合せの取付

※3尺間口、1M間口の場合は除く

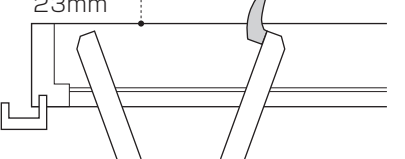
◆召し合せ部品は右側と左側の折れ戸扉の段差を軽減するための部品です。
必ず取り付けてください。



中心高
±60mm程度
扉裏側
部品の端を
扉端に合わせる
部品の高さを
合わせる
トラスビス
3.5×16
※φ3程度のリード穴を空けてから
取付けてください
左右となりあう扉の中央付近の高さで、
扉間の段差が目立つ箇所に取付ける

△注意

召し合せは開閉軌道上で、上枠より最大23mmはみだします。
(見切枠の場合。扉折時は16mm)
収納内部の棚板、中仕切り板は干渉しない位置に取付けてください。



23mm
（固定枠の場合
開閉軌道上：最大16mm
扉折時：9mm）

8. フリー扉・ピボット扉の切換え

扉吊元の固定を解除する方法

①扉を折りたたむ。
②両手で扉をかかえこみ、扉中央より上側を引き、続けて下側を引く。



吊元が解除されフリーに走行できるようになります。

扉吊元を固定する方法

①たたむ
②開める
①閉める
②押す



上部ストッパー
吊元側
下部ストッパー
※上下ともストッパーに固定されているか確認してください。